

vol. 01

平成28年度 第1号
(年間4回発行 通巻第139号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

2016年版

中小企業白書のポイント

特集2

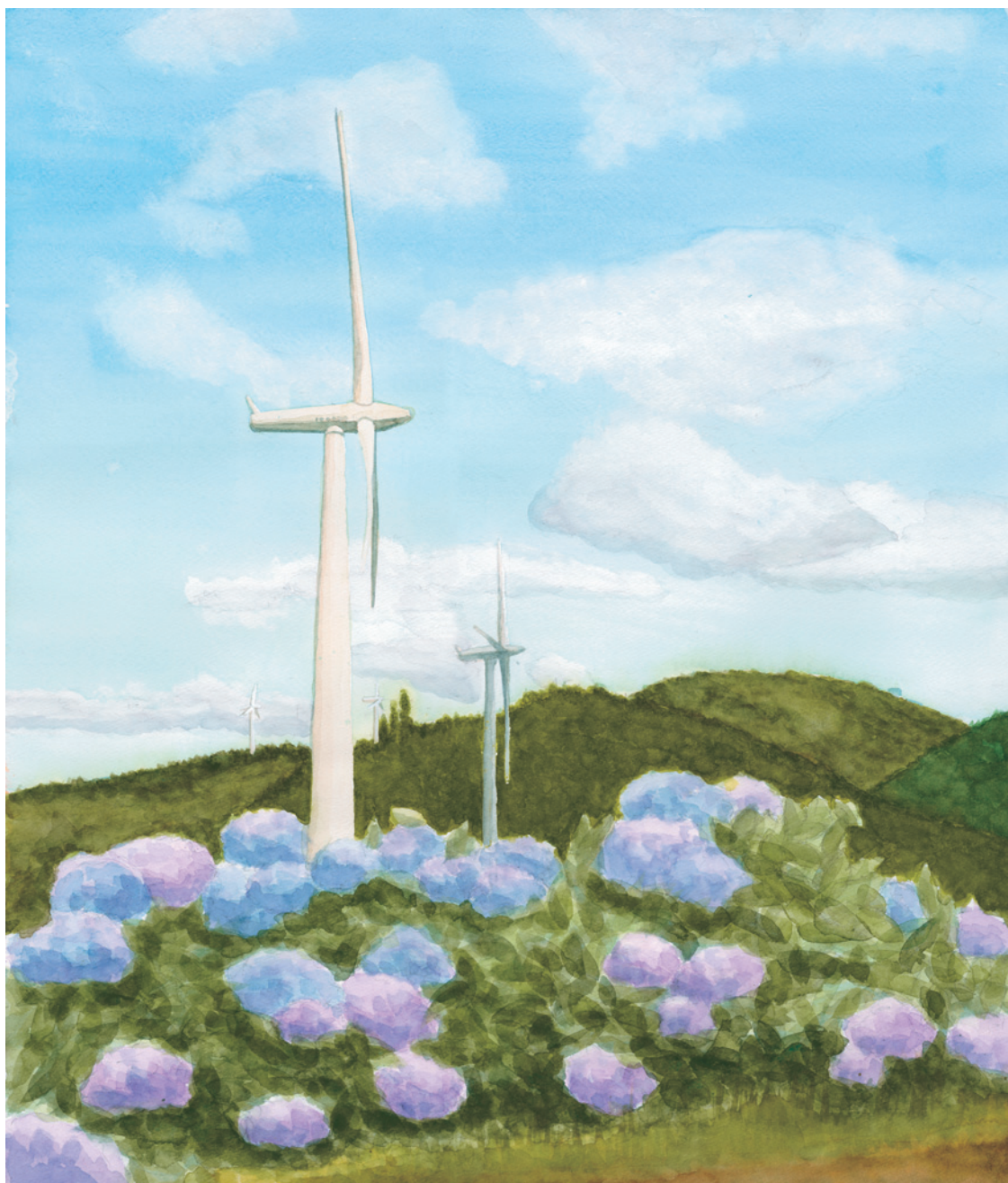
平成28年度 中央会事業の概要紹介

特集3

マイナンバー制度(第3回)

法人等のマイナンバーについて

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. **01**
平成28年度 第1号
(年間4回発行 通巻第139号)

特集

1

2016年版
中小企業白書のポイント 2

特集

2

平成28年度
中央会事業の概要紹介 4

特集

3

マイナンバー制度 (第3回)
法人等のマイナンバーについて 8



情報連絡員レポート

9

平成28年5月の景気動向



中道鉄工株式会社

10



組合ホットニュース

12

- ◎平成28年度徳島県表彰！
- ◎徳島県鉄鋼協同組合
津波避難路ウォーキングを定期的に開催
- ◎徳島県中古自動車販売商工組合
「徳島の盲導犬を育てる会」に寄付
- ◎協同組合徳島総合流通センター
創立40周年記念式典開催
- ◎協同組合物流ネットワーク徳島
創立25周年記念式典開催



青年部コーナー

15

- ◎青年部活動トピックス



中央会トピックス

17

- ◎平成28年度 第1回常任理事会・理事会開催
- ◎平成28年度 通常総会開催
- ◎中央会がBCAOアワード2015にて特別賞を受賞！
- ◎平成28年度 中央会事務局組織・新入職員のご紹介

日本全国名城めぐり 映画の日々

21



楽にいこう



22

「あなたのリソース、何ですか？」



お知らせコーナー

24

- ◎エコー人材情報
- ◎平成28年度「徳島 夏のエコスタイル」を実施します
- ◎平成28年毎月勤労統計調査のお願い



表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル：「大川原高原」

大川原高原山頂からは、遠くは紀伊水道、徳島平野、阿讃山脈など360度のパノラマが楽しめます。頂上付近には放牧場があり、4月下旬から9月下旬まで牛たちがのんびり草を食べています。

また標高900m付近では、7月上旬から中旬にかけて約三万株のあじさいが咲き乱れて、風力発電所の風車15基と共に観光客の目を楽しませています。



特集

1

2016年版 中小企業白書のポイント

中小企業庁から2016年版中小企業白書が発表されました。第1部では、最近の中小企業の動向についての分析を行い、中小企業の経常利益が過去最高水準に達しているものの、売上高の伸び悩みや人手不足、設備の老朽化といった課題に直面していることを明らかにした上で、中小企業の生産性について分析を行っています。第2部では、中小企業の稼ぐ力に着目し、生産性向上のためのIT活用、売上拡大のための海外展開、稼ぐ力を支えるリスクマネジメントについて取り上げました。IT活用については、高収益企業における稼ぐ力の強化に結びつけるための取組について分析を行い、海外展開については、海外展開が稼ぐ力の強化や国内の従業員の拡大につながることを示しています。リスクマネジメントについては、事業継続計画や情報セキュリティ対策、新事業展開に係るリスク評価について、中小企業の取組の現状と課題を分析しています。また、こうした取組を支える金融については、中小企業への貸出しが伸び悩む中、借入れと収益力の関係や企業の事業性を評価した資金供給のあり方について明らかにしています。最後に、経営力については、投資を決定する経営者の意識や企業風土等の違いについての分析を行っています。本誌では、そのポイントを紹介します。詳細については、中小企業庁ホームページでご参照ください。

第1部 平成27年度(2015年度)の中小企業の動向

第1章 我が国経済の動向

我が国経済は、一部に弱さは見られるものの、緩やかな回復基調にあり、企業収益の拡大や賃金の上昇、雇用の拡大に見られるように、消費の拡大や投資の増加が更なる企業収益の拡大に結びつくという、「経済の好循環」が生まれ始めている。

第2章 中小企業の動向

中小企業においても、経常利益は過去最高水準に達し、倒産件数は減少し、中小企業の事業者数の減少のペースは緩やかなものとなった。他方で、中小企業の経常利益の拡大は、原材料・エネルギー価格の低下等によるところが大きく、売上の拡大を伴ったものではない。そのため、中小企業の設備投資は伸び悩み、設備の老朽化が進んでいるほか、人手不足が深刻化しているといった、中小企業の課題を概観する。

第3章 中小企業の生産性の現状

我が国中小企業の生産性は、サービス業を中心として低い水準にあると言われる。そのため、業種別の生産性の分析を行うほか、どのような業種においても、大企業よりも生産性の高い中小企業が一定数存在することを明らかにし、そのような企業は投資に積極的であることなどを示す。

第2部 中小企業の稼ぐ力

第1章 中小企業を取り巻く環境の変化

中小企業が直面する中長期的な経済・社会構造の変化として、人口減少・少子高齢化、親企業－下請企業を軸とした取引関係の希薄化、情報通信技術の普及拡大、海外需要の拡大、自然災害の高頻度化等について概観する。

第2章 生産性向上のためのIT活用

中小企業の中には、自社の経営状況を把握することができないなど、ITを活用すれば解決可能と考えられる課題を抱えている企業も一定数存在するが、IT人材の不在やIT導入効果の不透明性等を理由に、IT活用が進んでいない。また、IT導入を進めている企業の中でも、十分な効果を得られていない企業も存在する。そのため、IT活用の効果や、高収益企業における、IT活用を稼ぐ力の強化に結び付けるための取組について分析を行う。

第3章 売上拡大のための海外展開

海外の中間層・富裕層が増加し、訪日外客数は過去最高を更新し、さらに、TPPへの合意を契機に海外との関係の深化が期待されるが、輸出や直接投資、インバウンド対応を行っている中小企業は、増加傾向にはあるものの、まだまだ多くはない。

そのため、インバウンドへの対応も含め、海外展開は、稼ぐ力の強化や国内の従業員の拡大につながることを示すとともに、高収益企業の海外展開に係る取組について分析を行う。

第4章 稼ぐ力を支えるリスクマネジメント

自然災害の高頻度化やITの普及拡大に伴う情報セキュリティへの意識の高まりから、大企業は対策を進めているが、中小企業の取組は遅れていると言われる。そのため、事業継続計画や情報セキュリティ対策、新事業展開に係るリスク評価について、中小企業の取組の現状と課題を分析する。また、これらの取組は、緊急時のみならず、平時においても、経営改善につながるなど、稼ぐ力の強化に資するものであることを明らかにする。

第5章 中小企業の成長を支える金融

中小企業の稼ぐ力の強化に向けては、資金供給が重要となる。そのため、金融機関と中小企業の関係性を分析した上で、企業の事業性を評価した資金供給のあるべき姿について述べる。また、非金融面での支援の現状や課題についても分析し、支援機関と連携した経営支援サービスを提供することの重要性を示す。

第6章 中小企業の稼ぐ力を決定づける経営力

金融機関等との良好な関係を構築しつつ、稼ぐ力に向けた投資を実行していくためには、経営者の経営力が極めて重要となる。そこで、中小企業を、売上高経常利益率と自己資本比率の観点から分類し、稼げる企業や、売上高経常利益率は大企業平均よりも低い、自己資本比率は大企業平均よりも高い企業の特徴等を確認し、投資の動向や、投資を決定する経営者の意識や企業風土等について分析する。

また、中小企業の経営者の高齢化が進展する中、高齢化に伴う経営者の意識や投資行動の変化を分析するとともに、計画的な事業承継の重要性について述べる。

特集 2

平成28年度 中央会事業の概要紹介

中央会では、組合事業の活性化と健全なる組合運営が図れるように、
本年度も引き続き組合の方々に利用していただくための各種事業を展開しております。

事業の活性化、見直したい

組合・組合員企業経営サポート事業

1) 専門家相談事業（7回）

組合からの要望等により、組合が抱えている法律、税務、技術、経営、労働、コンピュータ等に関する専門的な問題について弁護士、公認会計士、中小企業診断士、専門コンサルタントに依頼して指導を行っております。
〔連携推進課〕

2) 組合特定問題研究会（5回）

組合や業界における問題点やテーマを専門家による解説を受け、それについて集団で議論・研究することにより、問題点の共有や解決を図ります。
〔連携推進課〕

3) 組合員企業パワーアップサポート事業（1組合又は1企業）

協同組合等で共同施設事業を行う工場団地、卸団地、ショッピングセンターや商店街振興組合などの組合員企業を対象に、専門家、中央会内中小企業診断士、当該経営者等でチームを組織し、業界・市場の動向や現状、工場や小売店舗内外の状況、経営コンセプト、工場・店舗運営、商品構成、レイアウト、顧客アプローチ等について様々な角度から検証を行い、当該企業・店舗における強み・弱み、課題から具体的な取り組みまでを提案し、魅力とより強みのある企業や小売店舗の実現に向けて本事業を実施します。
〔連携推進課〕

スキルアップ事業

（2組合）

中小企業を取り巻く環境は、規制緩和、技術革新の進展等様々な変化が生じ、厳しい環境変化に直面しています。このような環境変化に対応するための技術革新への取り組みは今後ますます重要となっております。

このような状況に鑑み、本事業により組合や未組織グループの技術向上の取り組みをスムーズにし、環境変化への積極的な対応を図ることを目的としています。
〔連携推進課〕

組合管理者等講習会

（1回）

組合は中小企業振興の要請から種々の税法上の特典が与えられており、これらの特典は各種税法に及び、積極的に取り組むことが必要であります。特に組合会計は一般事業会計処理と異なり組合特有の会計処理が義務づけられています。これらに対応する決算・税務手続と定款上義務付けられている各種積立金の処理の方法をスムーズに進めるため、専門家を招聘し決算実務講習会を開催します。

〔組織支援課〕

小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業

(原則1組合)

組合や組合員の「経営基盤の強化」「生産性の向上」を目指した「既存の共同事業の改善」「新たな事業開発」のためのフューチャリティ・スタディの実施またはその結果を具体化するための事業の実施についての助成を行います。
〔総務課〕

小企業者組織化特別講習会

(3組合)

小企業者の組織化、小企業者組合の運営向上等を図るため、小企業者及び小企業組合関係者を対象とした講習会を開催します。
〔総務課〕

組合事務局交流会

(1回)

組合事務局専従役職員を対象に、中小企業施策の普及と組合運営上必要な法律・会計などの知識の向上と情報交換を行うことを目的として交流会を開催しています。
〔組織支援課〕

取引力強化推進事業 **New**

(3組合)

中小企業・小規模事業者の連携による取引力強化推進を図るために実施する共同販売・宣伝、組合員の事業・企業紹介等のための組合が行うホームページやチラシの作成等、共同事業の活性化、組合員の受注促進等の取り組みを支援します。
〔総務課〕

中央会いいものづくり応援事業 **New**

(1組合)

徳島県内において生産される原材料、農林水産物等や地域特有の生産技術等の利用拡大と県内加工業等の振興のため、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップ等の積極的な取り組みに対して高い意欲のある事業協同組合等の連携体を対象に、魅力的な商品づくりやその販売促進について支援します。
〔連携推進課〕

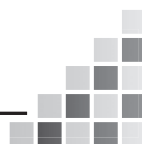
モデル組合認定支援事業 **New**

(2組合)

共同事業活動を活発に行い、業績が優良で、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図ります。
〔総務課〕



研修会・講習会等を開催したい



組合青年部活動支援事業

徳島県経済の次代を担う若手経営者・後継者の育成とそれら若手経営者・後継者が所属する組合青年部における事業活動の促進を図るとともに、各々の組合青年部においてその活動を牽引するリーダー間の交流の場を設け、青年部活動を運営する上での諸課題への対応や異業種間・地域間の連携等について討議することを目的とします。
〔組織支援課〕

組合活性化研修助成事業

(4組合)

中小企業が組合等の連携組織を通じて、中小企業にとって特に重要性の高い問題（技術、新製品開発、新分野進出、情報化、マーケティング、品質管理、労働等）について、その解決や新たな事業展開を図るための研究が必要不可欠であるが、独自で研修等を行うことは極めて困難な状況にあります。このため組合が組合員を対象として実施する研修事業に対し助成を行います。〔組織支援課〕

情報化に取り組みたい

中央会パソコン研修会事業

(1組合)

組合等が、インターネット等を活用し、組合の内外をコンピュータネットワークで接続し運営していくような時代の要請があります。

そこで、情報機器の操作やソフトウェアを活用することのできる組合関係者を養成することが喫緊の課題であり、これらニーズを踏まえて中級者向けの実践的研修会を開催します。〔連携推進課〕

防災力・危機管理能力を強化したい

中小企業組合BCP策定支援事業

徳島県内の組合及び組合員企業に対して、企業が災害や事故などで被害を受けても重要業務をなるべく中断させず、中断した場合はできるだけ早急に復旧させる事業継続（BC（Business Continuity））への取り組み普及と事業継続を達成するための事業継続計画（BCP（Business Continuity Plan））の策定を推進することにより、企業における災害・事故発生時の早期復旧と徳島県経済への影響の低減を図ることはもとより、防災・危機対応に取り組んでいる企業としての信頼と顧客・取引先からの安定供給の要請や供給責任を果たすとともに、徳島県地域企業において事業継続への取り組みを拡げることにより、徳島県における高信頼社会の実現を図ることを目的としています。〔連携推進課〕

中小企業組合等リスクマネジメント構築支援事業

New

自然災害やコンプライアンス問題等の様々なリスクについて、中小企業組合等は状況に応じてそれらのリスクを回避・軽減するための対処法（リスクマネジメント）を考えておく必要があります。

そこで、中小企業のリスクマネジメントの観点から、リスクの分類方法やリスクマップの作成・種類別のマネジメント手法等を学び、グループ演習を交えて理解を深めてもらうことを目的に開催します。〔連携推進課〕

外国人技能実習生共同受入事業を適正に実施したい

外国人技能実習生受入企業適正化推進事業

団体管理型で外国人技能実習生を受け入れている実習実施機関(受入企業)に対して社会保険労務士等の専門家を招聘し、外国人技能実習生受入制度並びに関係法令の講習会を開催します。〔組織支援課〕

外国人技能実習制度適正化指導事業

外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等(監理団体)並びに組合員(実習実施機関)による不正行為の防止に努めるため、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家並びに中央会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善指導を行います。〔組織支援課〕

官公需を受注したい

官公需総合相談センター事業

(随時)

中小企業の官公需対策を充実させるため、官公需に係る発注情報、落札情報、競争入札参加資格申請受付情報等について情報収集を行うと共に、地域の業界団体や中小企業等に情報提供を行っています。〔組織支援課〕

環境保全活動に取り組みたい

中小企業環境保全活動支援事業

「環境への負荷の少ない循環型社会づくり」を推進するため、エコアクション21地域事務局の認定を受け、環境保全活動の相談窓口の設置や、環境保全活動に関するセミナーを開催し、県内中小企業の環境への取り組みを支援します。〔連携推進課〕

人材確保のため業界や自社のPRに取り組みたい

県内就労意欲向上のための中小企業魅力発信事業

New

この事業では、県内中小企業の仕事に対する熱意や姿勢を主軸に構成したPR映像を制作することにより、県内企業や働くことに興味を持ってもらい、ひいては県外への労働人口流出を食い止める効果を狙います。映像資料の制作にあたっては、徳島商業高等学校の生徒に依頼し、制作・編集手法等についての指導は政府や自治体の映像制作に数々の実績があるプロが行います。制作対象はご応募頂いた会員の皆様から選定し、映像作品は対象組合・企業様に差し上げる他、各種PRイベント等で使用します。〔組織支援課〕

平成28年度の事業実施対象組合がすでに決定している事業もありますので、実施希望される組合は、中央会各事業担当課までお問い合わせ下さい。

特集 3

マイナンバー制度 (第3回)



玄番 芳江 氏

法人等のマイナンバーについて

ハローワークにてマイナンバーの取り扱いが2016年1月1日より始まりました。
今回は、法人等のマイナンバーについて説明します。

法人等にもマイナンバーが割り振られました。法人等のマイナンバーは、個人のマイナンバーとは違い原則公開となっており、国税庁のホームページにて誰でも閲覧可能です。公開されている情報は①商号又は名称②本店又は主たる事務所の所在地③法人番号の3情報です。

法人等のマイナンバーの目的は以下の4点です。

- ①**行政の効率化**…法人等に関する情報管理を効率化し、法人情報の授受、照合にかかるコストを削減し、行政運営の効率化を図ります。
- ②**国民の利便性の向上**…行政機関間での情報連携をし、添付書類の削減など、各種申請等の手続を簡素化することで、申請者側の事務負担を軽減します。
- ③**公平・公正な社会の実現**…法人等に関する情報の共有により、社会保障制度、税制その他の行政分野における給付と負担の適切な関係の維持を可能とします。
- ④**新たな価値の創出**…法人番号の利用範囲に制限がないので、民間による利活用を促進することにより、番号を活用した新たな価値の創出が期待されます。

今回は、「③公平・公正な社会の実現」について解説したいと思います。

厚生年金や健康保険、介護保険などを総称して社会保険と呼ばれていますが、この社会保険は、法人や5人以上の従業員を雇用している個人事業主は加入する義務があり、保険料を従業員と事業主が折半で負担することになっています。しかし、この負担額が大きいことや、制度への無知などがあり、社会保険に加入していない事業所が多数存在しております。社会保険未加入事業所を減らすために、年金機構が外部業者に委託して未加入企業に電話や訪問をしています。特に加入率が低いといわれている建設業では、平成29年4月以降に社会保険に加入していない建設業者は元請け・下請けを問わず公共工事から排除するように決定されています。政府は、このような社会保険の加入促進の活動を法人等のマイナンバーの導入により、さらに加速しようとしています。少子高齢化の現在、社会保障費が増加していく中、少しでも多くの労働者から保険料を徴収しようとしているわけです。社会保険に加入することによって、事業主・労働者ともに社会保険料の負担が増えます。しかし、労働者にとっては、年金や医療保険などの社会保障を受けられるようになり、事業主にとっては、人手不足の中、良い人材を確保するためにも社会保険の加入は決して悪い話ではありません。

平成28年5月

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

一部の業種においては、引き続き需要が順調である。しかし、DI値からは県内中小企業の景況感が大幅に悪化しており、今月の報告からも連休による稼働率の低下に加えて、円高による原材料高や燃料高、人件費の上昇、燃費不正問題が経営を圧迫しているとの声が聞かれる。未だ地方にまで景気回復の恩恵が届いておらず、世界経済及び為替市場の混乱の中、更に消費税増税延期が正式に表明された事による今後の企業経済への影響等が懸念されており、県内中小企業の経営環境は先行きが不透明な状況である。

《各業界の情報》

【製造業】

<食料品製造業>

【味噌】出荷量は前月からの増加に伴い、売上高も増加した。主原料の外国産米の価格は、僅かながら値上がりした。

【菓子】売上高不変。収益状況悪化。製造経費の高騰、人件費の上昇は経営をより圧迫される。地方ではアベノミクスの経済効果が現れていない。

<木材・木製品>

【木材】荷動きが悪く、販売価格も低下しており、製材製品についても売れ行きが悪い。梅雨期を前に悪条件も重なって依然厳しい状況で推移している。

【木材】売上高減少。収益状況悪化。いつまでこの不景気な状態が続くのか、またこの状態が普通になってしまったのか非常に混乱している。

【製材】売上高不変。収益状況悪化。消費税増税の先送りが表明されたことにより、景気への先行き不透明感が以前にも増している。

<印刷>

【印刷】5月はゴールデンウィーク後は落ち着く。もっとサービスや付加価値を加え、顧客から更なる需要を引き出す工夫をして実行していかなければならない。

【印刷】例年ゴールデンウィーク後は操業に比較的ゆとりがある。受注量はある程度確保できても、販売価格の低下傾向は続いており、収益性は若干悪化している。

<窯業・土石製品>

【生コン】5月の出荷量は需要減少や大型連休があり、対前年同月比減少となった。

<鉄鋼・金属工業>

【鉄鋼】売上高、設備操業度とも弱含みで推移している。引き合いの減少も見られ、先行きの不透明感が拭えない。

【ステンレス】売上高不変。収益状況不変。引き続き景気回復を実感できず、消費税増税の延期による社会経済への影響も含め、様子見の状況である。

<一般機器>

【機械金属】売上高や収益状況の改善に繋がる大きな変化は見られない。中国経済の衰退や原油価格・株価下落に伴う景気への先行き不透明感が依然として強い。

【非製造業】

<卸売業>

【食糧卸】原価が上昇傾向にあり、利益の確保が難しい状況。

【各種商品卸】インターネット、通信販売や他業態からの参入により、業況はより厳しくなってきた。

<小売業>

【繊維卸】売上高増加。収益状況不変。卸売業の介在が少ないプレゼンテーションの商品陳列及び解説の形式での売り場作りは、今後の流通に特徴があるように思える。

【ショッピングセンター】全体的には良い結果であったが、一部の店舗では売上げ増加に苦戦をしている状況である。

【プロパンガス】消費機器の交換期限が迫ってきているので、保安点検調査を実施し、売上高増加に繋げていきたい。

【電気機器】デジタル関連商品の売れ行きは不調で、家電製品は横這いの状況。消費税増税延期が今後の家電業界にとってプラスになるか、消費マインドは先行きが不透明な状況である。

【畳小売業】新築は連休以降の需要が少なかったが、一般家庭においては、需要が増加した。パンフレットを顧客に周知したりして、少しでも需要の増加に繋げていきたい。

<商店街>

【徳島市】イベントを開催したものの客足は伸び悩み、売上げは一進一退の状況である。

【阿南市】全体的に横這いで推移している。休日は人通りが少ない。

<サービス業>

【土木建築業】工事件数が震災対応の為、前年同月比少なくなっている。

【自動車整備】軽自動車の新車販売台数が過去5年間で最低の登録台数だった4月から更に減少した。これは、一連の燃費不正問題の影響によるものと思われる。

【旅行業】地方では一般旅行は減少傾向にあるようで、業況もあまり良くない。

<建設業>

【建設業】公共工事の発注量が少ない為、手持ち工事も少ない状況である。

【解体業】空屋住宅等の需要が堅調に推移しており、稼働率も好調である。

【鉄骨・鉄筋工事業】設備操業度は、対前月比大きな変化は見られない。

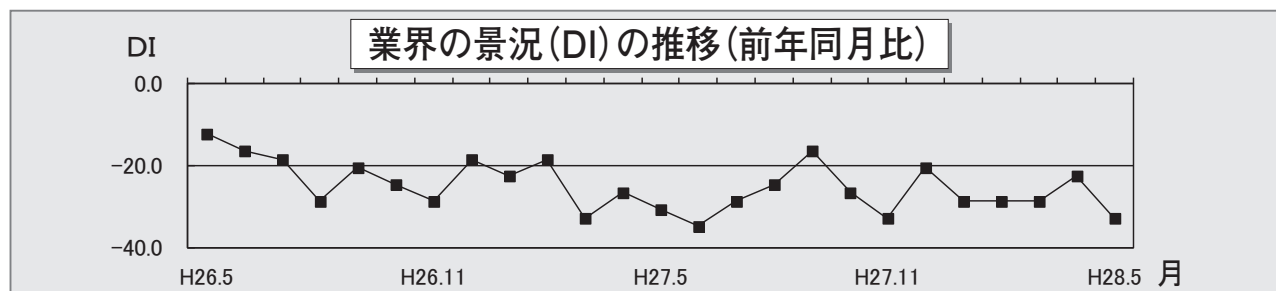
【板金工事業】新築物件の需要が少し落ち着いているが、リフォーム工事を継いでおり、売上高は増加した。

【電気工事業】住宅新設口数は276件(対前年比84.4%)と微減であった。

<運輸業>

【貨物運送業】全体的に荷動きが少なく低調に推移。燃料単価においては、6月に大幅な上昇が予想されており、利益率の低下が懸念される。

【貨物運送業】ゴールデンウィークによる工場休止や、年度替わりの時期であるため荷動きは低調であった。



※DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



中道鉄工株式会社

昨年度より、中央会の助成事業である「ものづくり中小企業支援事業」に採択された県内中小企業のものづくりトップランナーを紹介するコーナーを設けました。

第5回目は「回転円盤式部品供給装置外周円盤一体化製品の球面加工・精度向上と短納期化の確立」及び「リングラン製造における新規加工設備導入」をテーマに当事業に取り組まれた『中道鉄工株式会社』様をご紹介します。同社は大手ベアリングメーカーや電機メーカーの精密な組立機械及び検査機械の開発、製造を主力業務としながら、最近ではユニークな発想による部品供給装置、リークテスターなどを開発し、各種の業界から注目されています。今回は諸々の発想の真髄を中道武雄社長に伺いました。

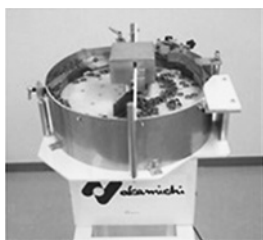
1 御社の設計・製作は極めて独自性があるように思います。この度、開発された「リングラン」はどのような装置ですか？

従来の部品供給装置（パーツフィーダ）は、振動により部品を整列、供給するシステムが一般的でありました。しかしパーツフィーダは、振動を利用して、部品を整列させるため、キズやへこみ、騒音の発生、供給能力の限界等多くの問題点がありました。

弊社はこれらの問題を解決するため、回転円盤式の部品供給装置の開発に取り組みました。それがこの「リングラン」です。

「リングラン」は部品を投入する中心円盤部と、部品を搬送し整列させるための外周リング部で構成されています。

振動を使わず、緩やかに部品を「回転」させながら、部品にストレスをかけず、静かに高速で供給することができます。寸法・形状等の違いは選別用アタッチメントを変更して対応できるようにしています。



リングラン

2 発想の基本やヒット商品を生み出す条件は何でしょうか？

私自身、子供の頃から色々な遊びを通して、自分の手足を動かし、ものを作ったり、構造を分析したりするのが好きでした。その経験から考える力や発想力を身につけてきたように思います。

ヒット商品を生み出すためには、開発製品に



導入されたNC正面旋盤



外周円盤部

ニーズがあること、従来の方法や従来製品には複数の問題点があり、それを一挙に解決できるような発想の転換ができること。そして、開発製品がエンドユーザーにもたらす利益や利便性を明確にし、ユーザーの心を掴むことのできるアイデアが盛り込まれていることが重要と考えています。

3 経営面で大切にしていることは何ですか？また、社内教育方法についてお聞かせください。

まずはお客様や他社から信頼される「ひとつくり」「ものづくり」を心掛けています。弊社は、「限りなき未来を創造する」を経営理念とし、「創ること」の喜びを誇りとしながら、お客様の要求を常に上回る製品づくりに努めています。ものを作るメーカーは創造力が最も必要であり、創造力のある技術者をいかに育てていくかが求められます。弊社では自ら考え、豊かに発想できる技術者の育成に力を注いでいます。



旋削加工作業

4 地方にありながらも、御社は外国からの注文を受けており、グローバルな事業を展開されているとお伺いしています。その秘訣と将来への展望をお聞かせください。

徳島県内で事業をしていく上では、優秀な人材の確保、輸送コストが高い、移動時間がかかる等様々な課題があります。

しかし、それに勝るものづくりをし、グローバルな視点を持てば、東京でも徳島でもどこにいても大差はないと思っています。

どの分野にも言えることだと思いますが、現状に甘んじることなく、オンリーワンを目指す発想と努力を継続することが大切です。

これからも生産プロセスをより効率化し、部品供給を求める色々な業界に対応して、「導入して良かった」と感謝される装置を提供していきたいと考えております。



中道武雄社長

【取材を通して】

中道社長は、『お客様の声は品質向上のための財産』とおっしゃいます。そして「技術者が自己満足する設計ではいけない。そこへたどり着くまでの99.9%が苦勞で、残りの0.1%は取引先に満足してもらった時の喜びです。」と力強く語って下さいました。

この度開発された「リングラン」は、お客様の要望・期待を上回る短納期化、高品質化、低コスト化を実現させており、特に自動車部品業界、半導体部品業界、製薬業界等で高い評価を受けております。日本が世界に誇るべき素晴らしい技術から生まれた製品を間近で拝見させて頂き、大変感銘を受けました。素晴らしい技術と発想力を発揮されている社員の皆様は、まさしく企業の宝であると感じると共に、ものづくりの面白さ、奥深さ、作り手の熱い思い、信頼関係の大切さなど、取材を通して沢山のことを学ばせてもらいました。

中道社長、社員の皆様、この度はお忙しい中ありがとうございました。



当社の外観

企業の概要

- 企業名 中道鉄工株式会社
- 所在地 徳島市北矢三町1丁目2-27
- 電話 088-632-3388
- FAX 088-661-0228
- E-mail nakamichi.iwc@able.ocn.ne.jp
- HP <http://nakamichi-iwc.com/>
- 代表取締役 中道 武雄
- 設立年月日 昭和43年3月1日
- 従業員数 21名
- 業 種 生産用機械器具製造業



組合ホットニュース

おめでとうございます
**平成28年度
徳島県表彰**

平成28年度徳島県表彰式が6月1日、県庁で挙行されました。地方自治や社会福祉、保健衛生、教育、文化、産業などの分野で功績のあった49人、4団体の表彰がありました。

本会会員組合からは、濱田 豊氏（徳島県商工業従業員福祉協同組合 理事長）、佐藤 充男氏（四国靴下工業組合 理事長）、深見 正治氏（徳島県木材買方協同組合 理事長）、小池 芳廣氏（徳島市指定上下水道工事店協同組合 理事）、齋藤 忠恒氏（協同組合鳴門建設業協会 理事）、豊崎 纏氏（徳島医師協同組合 理事長）、森本 桂次氏（協同組合徳島県建設業協会 理事）の7名の方が受賞されました。



濱田 豊氏
（徳島県商工業従業員福祉協同組合 理事長）



佐藤 充男氏
（四国靴下工業組合 理事長）



深見 正治氏
（徳島県木材買方協同組合 理事長）



小池 芳廣氏
（徳島市指定上下水道工事店協同組合 理事）



齋藤 忠恒氏
（協同組合鳴門建設業協会 理事）



豊崎 纏氏
（徳島医師協同組合 理事長）



森本 桂次氏
（協同組合徳島県建設業協会 理事）

（順不同・敬称略）

津波避難路ウォーキングを定期的に開催 徳島県鉄鋼協同組合

徳島県鉄鋼協同組合が所在する団地は、徳島小松島港（金磯地区）の近くにあり、市の津波ハザードマップでは3～4メートルの浸水が想定されています。しかし避難場所が少ないため、組合が中心となり防災力向上のために、年1回率先避難企業訓練を行っています。平成24年11月「率先避難ウォーキング愛好会（会長 佐野 誠）」が結成され、毎月第2金曜の午前7時から周辺の避難経路を巡るウォーキングを3年半続けておられます。同組合の坂本 守理事長は「定期的に開催することにより、避難時の体力づくりと避難場所及び避難経路の確認ができる良い機会になっている。また企業間の交流もより深まり、顔を合わせる機会が少なかった異業種の交流にも繋がっているので今後も続けていきたい。」とお話下さいました。



3年半継続し防災力向上



ウォーキングで津波避難路を確認する参加者

「徳島の盲導犬を育てる会」に寄付 徳島県中古自動車販売商工組合

平成28年3月28日（月）徳島市応神町応神産業団地の組合事務局において、徳島県中古自動車販売店協会と徳島県中古自動車販売商工組合が「徳島の盲導犬を育てる会」に20万円を寄付されました。協会と組合は昭和62年から毎年、各販売店から集めた募金などを交通遺児らに寄付されていますが、今回は昨年10月に徳島市の市道で全盲の山橋衛二さんと盲導犬がトラックにひかれて亡くなった事故を受け、当組合は車を扱う業界であるからこそ事故原因について改善策を考えると共に、「徳島の盲導犬を育てる会」に寄付をされました。同会の竹内理事長は「盲導犬のために大切に使いたい。」と感謝の意を述べられました。



寄付金を手渡す多田勇夫理事長

創立40周年記念式典開催 協同組合徳島総合流通センター

平成28年3月1日（火）徳島市のホテルクレメント徳島において、協同組合徳島総合流通センター創立40周年式典が盛大に開催されました。同組合は昭和51年3月に設立、徳島市川内町に流通団地の整備を始め昭和59年に完成しました。

式典当日には、同組合や経済団体、行政などの関係者110人が出席し、青木理事長は「40周年を節目に全組合員が心を合わせ、飛躍の決意を再確認する機会としたい。」と挨拶されました。表彰式では、組合活動に貢献された8人の方々が受賞されました。式典後の祝賀会も華やかに催され、万歳三唱で閉会となりました。



挨拶される青木秀夫理事長



（協）徳島総合流通センター創立40周年記念式典

創立25周年記念式典開催 協同組合物流ネットワーク徳島

平成28年6月4日（土）サンシャイン徳島アネックスにおいて、協同組合物流ネットワーク徳島の創立25周年記念式典が開催されました。同組合は平成3年5月、効率的で地球に優しい物流ネットワークを活用することにより、各組合員の配送情報を集約し物流の共同化・情報の共有化を図り、徳島県下10社のトラック事業者で設立。現在は14社で物流情報ネットワーク事業を主たる事業として取り組まれております。

式典当日には、徳島運輸支局、経済団体、日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会、一般社団法人徳島県トラック協会、関係団体などの関係者80人が出席され、栗飯原理事長は「明石海峡大橋開通後の四国の立地を考えて様々な変化に対応するため、又、関西の事業者との連携強化のために設立した協同組合であり、その取り組みを全国に拡大したい。」と挨拶されました。来賓の祝辞後には、組合功労者・優良管理の表彰式、JL奨学金の贈呈が行われました。式典後の記念祝賀会も盛大に執り行われ、万歳三唱で閉会となりました。



挨拶される栗飯原一平理事長



（協）物流ネットワーク徳島創立25周年記念式典



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇ 平成28年度 徳島県青年中央会 通常総会 ◇

平成28年6月2日(木)、徳島市の徳島ワシントンホテルプラザに於いて「平成28年度徳島県青年中央会通常総会」が開催され、各提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

今回の通常総会に於いて、役員の定義、定数変更などの規約改正が行われました。また、下記の通り役員の改選をしました。

(新会長1名)

徳島県鉄骨構造協同組合青年部 渡辺 裕士 氏

(新副会長6名)

徳島県鉄骨構造協同組合青年部 立道 健司 氏

鴨島電気工事協同組合青年部会 後藤田裕一氏

徳島ビルメンテナンス協同組合青年部 古田 譲二 氏

徳島県菓子工業組合青年部 春木 浩良 氏

徳島県自動車整備商工組合青年部 泰地 孝志 氏

徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部 野林 誉尚 氏

(新理事)

徳島県鉄骨構造協同組合青年部 渡辺 裕士 氏

徳島県鉄骨構造協同組合青年部 立道 健司 氏

鴨島電気工事協同組合青年部会 後藤田裕一氏

徳島ビルメンテナンス協同組合青年部 古田 譲二 氏

徳島県菓子工業組合青年部 春木 浩良 氏

徳島県自動車整備商工組合青年部 泰地 孝志 氏

徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部 野林 誉尚 氏

協同組合徳島総合流通センター23日会 堺 貴由 氏

徳島県屋外広告協同組合青年部会 本久 智一 氏

徳島県印刷工業組合青年部 黒田 大輔 氏

(新監事)

徳島県旅館業生活衛生同業組合青年部 森浦 正裕 氏

徳島県中央葬祭業協同組合青年部 富永 功一 氏

通常総会終了後は、懇親会を開催し、来賓に徳島県商工労働観光部商工政策課課長 上田輝明様、徳島県中小企業団体中央会会長 山本紘一様、四国ブロック中小企業青年中央会会長 金井芳臣様、徳島県商工会青年部連合会会長 井内高志様、徳島県立中央テクノスクール校長 奈須善彦様、徳島県立徳島商業高等学校校長 永松宜洋様、徳島県商工会議所青年部連合会副会長 松下大生様、三井生命保険株式会社徳島支社営業部長 新林聡様、三井住友海上火災保険株式会社徳島支店徳島第二支社支社長 高木徹様のご臨席をいただき、来賓の皆様や青年部員間の交流・懇親の場となりました。



通常総会 全景



新会長からの挨拶



県商工政策課課長 上田輝明様



平成28年度通常総会 懇親会

◇ 全国中小企業青年中央会 通常総会 ◇

◇ 四国ブロック中小企業青年中央会 通常総会 ◇

平成28年6月24日（金）、奈良県奈良市の春日大社に於いて「平成28年全国青年中央会通常総会」が開催され、同日午後には四国ブロック中小企業青年中央会の平成28年度通常総会も開催され、各提出議案が原案通り承認・決定されました。今回の全国青年中央会通常総会に於いて、任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に沖縄県の石川誠司氏が推選され、承認されました。また、徳島県商工3団体が手がけたあわとーくの成果について岡田まゆみ氏から発表しました。

総会終了後、神職による講話が行われ、その後各班に分かれ春日大社を巡り参拝させていただきました。

懇親会では、奈良県知事らもご臨席なされ、ソプラノ歌手岡田ゆみこ氏とせんとかんが「ふるさと」を熱唱する等大いに盛り上がった後、全国講習会開催地の神奈川県青年中央会と次年度開催地の佐賀県青年中央会のメンバーから挨拶があり、盛会裡に閉会となりました。



四国ブロック中小企業青年中央会
平成28年度通常総会



全国中小企業青年中央会
平成28年度通常総会



あわとーく成果発表



神職からの講話



春日大社参拝



奈良県大会懇親会

★今後のスケジュール★

- 第2回 役員会（平成28年7月予定）
- 四国ブロック交流会（平成28年10月予定 愛媛県）
- 全国青年中央会 全国講習会（平成28年11月4日 神奈川県）
- 四国連携トップ会議（平成29年1月予定 開催場所未定）
- 四国ブロック 会長会議（平成29年2月予定 香川県）



中央会トピックス

平成28年度 第1回常任理事会・理事会 開催

本会の常任理事会及び理事会が5月12日（木）に徳島市南出来島町のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて開催されました。常任理事会では、理事会提出議案等について、理事会では、通常総会提出議案等について審議され、全ての議案が原案通り承認されました。



第1回常任理事会



第1回理事会

平成28年度 通常総会 開催



本会の平成28年度通常総会が、去る5月26日（木）徳島市南出来島町のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて会員227名（委任状出席含む）をはじめ多数のご来賓出席のなか開催されました。定刻開会の後、山本紘一会長の挨拶に引き続き、徳島県知事 飯泉嘉門氏、四国経済産業局長 成瀬茂夫氏（同局産業部長 西川裕泰氏代理）、徳島県商工会議所連合会会長 近藤宏章氏（徳島商工議所副会頭 高橋信子氏代理）、商工組合中央金庫徳島支店長 君塚浩二氏の各氏より祝辞を頂きました。



徳島県中央会 山本紘一 会長



徳島県知事 飯泉嘉門 氏



四国経済産業局 西川裕泰 産業部長



徳島商工会議所 高橋信子 副会頭



商工中金 君塚浩二 支店長

次いで、山本紘一会長が議長に選任され、議案審議に入り、各議案につき慎重な審議を経てそれぞれ原案通り承認可決されました。

総会終了後、引き続き懇親会が行われ、山本紘一会長挨拶の後、徳島県商工労働観光部長 小笠恭彦氏の乾杯の音頭により開宴となりました。懇親会の半ば、公務を終えられ懇親会に駆けつけて下さった飯泉嘉門徳島県知事からご挨拶を頂き、会場はさらに盛り上がり、和やかな雰囲気の中で懇親が深められました。最後に日本政策金融公庫徳島支店 国民生活事業統轄の銭谷均氏の中締めの挨拶をもって散会となりました。



徳島県中央会 山本紘一 会長



徳島県商工労働観光部 小笠恭彦 部長



徳島県知事 飯泉嘉門 氏



日本政策金融公庫徳島支店
銭谷 均 国民生活事業統轄

本会がBCAOアワード2015にて特別賞を受賞！

平成28年3月10日(木)午前11時より、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「BCAOアワード2015&シンポジウム」が開催されました。特定非営利活動法人 事業継続推進機構（以下、BCAO）は、2005年に内閣府により策定された事業継続ガイドラインの策定メンバーが発起人となり、日本における事業継続（BC）普及を目指して設立したNPO法人で、その活動の一環として、BC普及に貢献または実践した企業や団体を表彰する「BCAOアワード」を毎年実施されております。

今回で10回目となる「BCAOアワード2015」の事業継続部門において、当会は「特別賞」を受賞しました。

「特別賞」は優れた取り組みで特に見るべき特徴のあるものに表彰される賞です。

徳島県中小企業団体中央会「BCAOアワード2015 事業継続部門 特別賞」受賞理由

当会は、平成19年度から「BCP策定支援」を予算化し、組合及び組合傘下企業にBCPの普及・啓発を開始し、現在まで年に数回ペースで専門家を招聘してセミナーを開催している。また、中央会職員が徳島県内各地で「BCP策定相談会」を開催すると共に、徳島県の「徳島県企業BCP認定制度」の創設を受け、同認定を取得できるまでの支援事業を開始している。さらに、BCAO認定の事業継続初級管理者資格を全職員が取得する等、積極的に人材育成に取り組んできている。また、鳥取県中央会との連携協定を締結し、緊急連絡訓練や情報伝達訓練を行っている等が評価された。

受賞式の後にはBCAO理事長 堀越 繁明氏による基調講演、BCAOアワード2015受賞者による発表及びBCAOの理事長・副理事長による「BCAO10年の取り組みと今後10年のBC推進に向けて」のパネルディスカッションが行われました。

徳島県においても、県内企業において「BCP」の策定を通じた「企業防災」の取組を進める上で役立つ各種情報を提供するなど、「徳島県企業防災力」の強化を推進しているところであり、当会としても、こうした徳島県の取り組みをさらに促進し、「災害に強い徳島企業ブランド」づくりに資するため、BCP未策定及び策定中の中小企業並びに中小企業組合を対象として、参加企業の事業環境、業種、地域特性などを踏まえた実効性のあるBCP（事業継続計画）の策定を引き続き支援していきます。

また当会のBCPにおいても、さらに事業継続力及び災害対応力の向上を図るために、今後も教育・訓練を行うことによって課題を発見しつつ、事業継続計画を見直し、不測の災害や事故など緊急事態の発生時にも、事業活動を中断することなく、会員組合や組合員企業など関係者の方々に対する影響を最小限に抑えられるよう、今後も積極的に取り組んで参ります。



表彰状



BCAOアワード受賞式にて



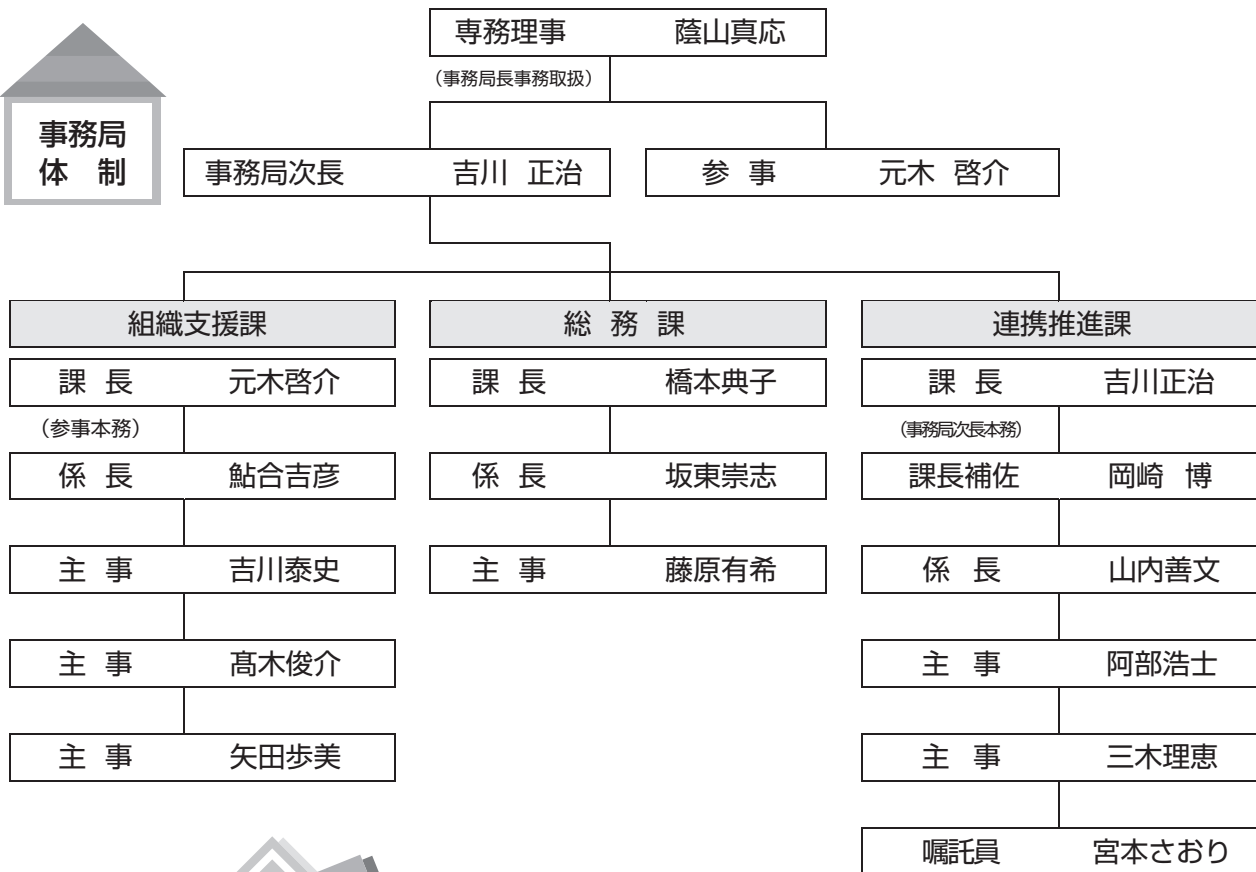
当会が特別賞受賞



受賞者記念写真

平成28年度 中央会 事務局組織・新入職員のご紹介

事務局 体 制



中央会 新入職員の 紹介

本年 4 月 1 日より、新しく中央会の職員
の仲間入りをしました。
これから何かとお世話になりますが、ご
指導の程よろしくお願い申し上げます。



みやもと
宮 本 さおり

連携推進課 嘱託員

双子座 血液型 O 型

■趣 味：買い物・旅行

■自分の性格：人見知り

■コメント：分からないことばかりで、迷惑をかけることが多いと思
いますが、一日でも早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思いま
すので、よろしくお願い致します。

日本全国 名城めぐり



「熊本城」

所在地：熊本県熊本市本丸1-1

築城種類：平山城

築城年代：慶長6年（1601）

築城者：加藤清正

天守の現況・形態：望楼型 三重六階地下一階 鉄筋コンクリート造（再建）



熊本城は、城作りの名手と言われた加藤清正・藤堂高虎が築城に携わった城のうち、日本三名城（名古屋城・大阪城・熊本城）の1つです。2015年で3回目の発表となる世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「行ってよかった！日本の城ランキング」で3年連続1位となるなど、黒い外壁が印象的で、年間170万人以上の観光客が訪れる名スポットとなっています。

天守閣は、西南戦争の際に原因不明の火事で焼失しましたが、昭和35年に再建されました。天守は、大小2つで構成され、「大天守」は地上6階地下1階で、戦闘に備えた部屋割り、「小天守」は地上4階地下1階で、居住を考慮した造りとなっています。

創建当時から残る「宇土櫓」は、地下1階＋5階建ての構造で、「国指定の重要文化財」に指定され、内部に入ると、床のきしむ音、木のぬくもりを感じることが出来ます。

熊本城の石垣は、下部はゆるやかな傾斜で、上部に向かうほど急な角度になり、容易に登れなくなることから「武者返し」と呼ばれる独特の造りになっています。

平成20年には、行政の場や藩主の対面所として使われていた「本丸御殿」が復元されました。本丸御殿は、2つの石垣を跨ぐように造られ、建物に入るための地下通路は、「闇り通路」と言われ、昼でも暗く、通路内は神秘的な雰囲気、全国的にも珍しい構造になっています。

平成24年に加藤清正の生誕450年を記念して結成された「熊本城おもてなし武将隊」が、訪れる観光客を迎えてくれます。

本年4月熊本地震により、天守閣の屋根瓦は剥がれ、しゃちほこも落下。石垣も崩壊するなど大きな被害を受け、修復に10年以上を要すると言われております。全国各地からの支援により、一日も早い熊本城の復興が待たれます。

（崇）



「天国の日々」（原題 DAYS OF HEAVEN）

1978年アメリカ公開 1983年日本公開 上映時間 1時間35分

監督、脚本 テレンス・マリック 撮影 ネストール・アルメンドロス

音楽 エンニオ・モリコーネ

出演者 リチャード・ギア、ブルック・アダムズ、サム・シェパード、リンダ・マンズ

受賞歴 アカデミー賞 撮影賞、カンヌ国際映画祭 監督賞

「天国の日々」は、映像美の神様と呼ばれるテレンス・マリックの代表作です。

舞台は、第一次世界大戦が始まった頃のアメリカ。放浪の旅を続ける主人公と恋人、その幼い妹が、テキサスの農場で栄光と転落の日々を繰り広げます。

本作では、過酷な労働風景を描いているにもかかわらず、前半の麦刈り作業に見る農場の広大さと風景の美しさ、後半最大のハイライトとなるイナグ来襲の映像の迫力と美しさは圧倒的です。

映像が美しい映画は他にもありますが、何故本作の映像はここまで奇跡的に美しいのか？ 不思議に思い、調べてみると、本作は、日が暮れても光が残っている夕方の20分間だけを使って、映画全編を撮影したのだそうです。何もかもが最も美しく見える時間で、マジックアワーと呼ばれている時間帯だそうです。1日にたった20分間だけを毎日毎日撮影をするとは、テレンス・マリック監督の執念が凄すぎます。なんて贅沢な映画なのでしょう。

まるでミレーの絵画を思わせるような、夢のように美しいアメリカの風景を是非是非ご堪能下さい。（典）



何かとストレスの多いこのご時世。職場や家庭で居づらさ生きづらさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

そんなあなたのために、昨年度に引き続き、このコーナーでは肩の力を抜いて、日常を少しでも楽に過ごすためのちょっとしたコツをお伝えしていきたいと思っています。

そんなこのコーナー、今回のテーマは、

「あなたのリソース、何ですか？」

「リソース」という言葉を聞いてあなたは何を連想しますか？

経営者の方なら「ヒト・モノ・カネ」といったいわゆる経営資源を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか？

今回、ここで取り上げるのは、私たちひとりひとりが持ち合わせている「リソース」についてです。リソースは資源・物資・才覚などと訳されますが、これを踏まえて、ここで一つ質問をします。

「あなたのリソース、何ですか？」思いつくだけ書き出してみてください。

どんなことが書けましたか？例えば、

- ・英会話ができる
- ・〇〇の資格がある
- ・〇〇の免許を持っている

このような、特技や資格などについて書かれた方がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。このようなリソースはわかりやすい（意識しやすい）ので書きやすいですね。もちろん、素晴らしいリソースです。

しかし、まだまだたくさんのリソースがあなたにはあるはずですよ。こんな例で考えてみます。

エピソード1 ～リソースはいつも自分の内側にあるとは限らない～

官公庁に勤めるAさんは、とある業界団体の指導をしています。

今の仕事に就いて間もないため、外部からの問い合わせに即答できないことが多く、自分の仕事に自信を持てずにいます。特に電話での問い合わせが苦手で、目の前の電話が鳴るだけで不安な気持ちになってしまいます。

電話での問い合わせに対し、自分の知識や経験といったリソースを活用してスムーズに対処できるに越したことはありませんが、できない場合は他のリソースを探せばいいのです。

このことは、「あの本で調べればわかるかもしれない、あの時の会議資料に書いてあったから確認できる。」といった具合に「調べる手段を知っている」こともあなたのリソースなのです。

また、その問題について知っている人が身近にいれば、その人に電話を代わってもらうこともできるでしょうし、その人に教えてもらってから自分で対応してもいいのです。

リソースは常に自分の内側にあるとは限りません。内側に無いときは外側で探せばいいのです。自分の外側のリソースをうまく活用できる能力も立派なリソースです。

エピソード2 ～当たり前のことが実はリソース～

私は趣味でマラソンをしています。フルマラソンを完走したと言えば、それだけで「すごいですね。」と言われたりします。

そんな時、以前の私は「少し練習すれば誰でも完走できますよ。」と答えていました。すると、ある時こんな風に注意してくれた人がいました。

「あなたは謙遜しているつもりかもしれませんが、そんなことを言うと、走りたくても走れない人や練習しても完走できない人もたくさんいるのだから、そんな人たちに失礼だ。」



私は、自分が恥ずかしくなると同時に、自分には完走できる体力があることや、練習できる環境にいることや健康な身体があることもリソースだと気づかされました。

自分にとっては何気にできることこそがリソースだったりしますが、本人にとっては当たり前過ぎて気づかないことも多いのです。

エピソード3 ～短所だと感じているところが実はリソース～

とある会社の経理部で働くBさん。事務処理が遅いことを理由に「自分の仕事の能力は低い」と感じています。果たして本当に能力が低いのでしょうか。

Bさんの仕事ぶりに対する上司や同僚の評価は、「仕事がとても丁寧」、「正確性を求められる仕事なので、ほとんどミスがないので安心して任せられる」と良い評価が多いようです。

Bさんの仕事は決して「早くはない」のかもしれませんが、裏を返せば「丁寧」であり「正確性が高い」の言えるのです。一見、短所のように感じる性質も、見方や捉え方を変えればリソースになり得ます。この捉え方の話はまた次の機会に詳しくお話しします。

あなたにも既にたくさん備わっているはずですよ。もっと探してみてください。

例えば

- ・車の運転が得意
- ・良いお店をたくさん知っている
- ・コツコツ作業するのが好き
- ・順序立てて話すのが得意
- ・文章を書くのが得意
- ・資料を作成するのが得意
- ・整理整頓が得意
- ・計画を立てるのが得意
- ・計画を立てるのが苦手でも、行動が早い
- ・感情表現が豊か
- ・感情表現は苦手だけど、いつも冷静

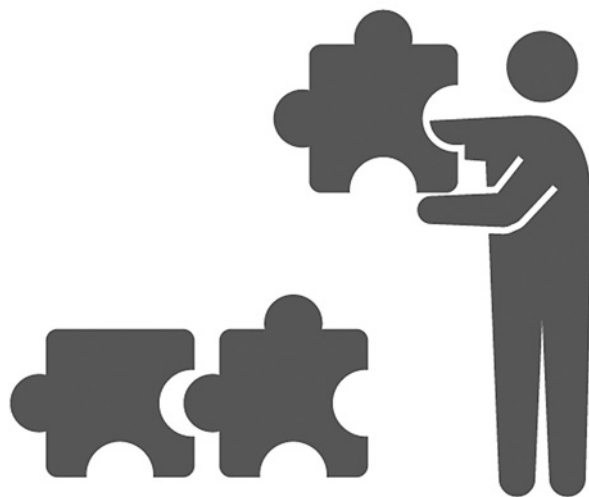
などなど何でもリソースになりえます。

「リソース」という言葉の語源は、ラテン語の“resurgere”で復活する、再び湧き出る、再び立ち上がるという意味だそうです。

あなたの中に眠っているリソースを再び呼び起こし、自分の才能を見つめ直してください。リソースで満たされた状態。そして、いつでもすぐにそれを取り出せる状態にしていれば、あなたの日常はもっと満たされていくに違いありません。

ではもう一度、あなたのリソースを書き出してみてください。きっと最初に書いたときの何倍も書けることでしょう。

(M)





お知らせコーナー

～エコー人材情報について～

人材不足でお困りの組合様や組合員企業様にお知らせです。

エコー人材情報には、公益財団法人 産業雇用安定センター徳島事務所に登録された人材送出情報が毎月掲載されております。当センターでは、人材の受入または送出における職種、年齢などの出向・移籍の受入または送出の仲介・斡旋に必要な事項を登録し、人材情報はセンター本部のコンピュータで管理しています。

登録された出向・移籍の情報の中から、人材の受入または送出を希望される企業の条件に最適と思われる人材情報をコンピュータから検索し、双方の企業に速やかに提供します。また、人材情報の提供をしていただいた企業に対しては、ご希望により相手方企業をご紹介します。

人材をお探しの際に、ぜひご活用ください。インターネットにより全国の最新の人材情報を公開しております。

お申込み・お問い合わせは下記まで。

公益財団法人 産業雇用安定センター 徳島事務所
〒770-0841 徳島市八百屋町2-11 ニッセイ徳島ビル5階
TEL 088-626-9511 FAX 088-626-9512
ホームページはこちら→ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

～平成28年度『徳島夏のエコスタイル』を実施します～ “脱炭素社会元年” みんなで！ストップ地球温暖化

実施方針

昨年の世界の年平均気温は2014年に続いて統計開始以来、2年連続で「最も高温の年」を更新するなど、まさに地球温暖化は待ったなしの課題となっています。

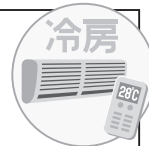
こうした中、昨年12月には、C O P 21（第21回国連気候変動枠組条約締約国会議）において、「今世紀後半に温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指すという歴史的合意がなされ、世界全体が脱炭素社会への一歩を踏み出したところです。「徳島夏のエコスタイル」では、未来を担う若い世代を中心に、脱炭素社会の実現に向け、新たなライフスタイルの転換へ県民総ぐるみでの取組みを展開します。

行政機関・事業所における“COOL CHOICE（クール チョイス）”の実践

徳島環境県民会議に所属する行政機関・事業所・高等教育機関が一体となり、夏のエコスタイルの基本的な取組みとして、地球環境に優しい「COOL CHOICE（＝賢い選択）」を率先実施します。

○ 冷房時の室温28℃設定・軽装勤務の徹底

気温に応じた空調機器の効率的使用や軽装勤務に加え、冷房効率がアップするよう機器の清掃実施の呼びかけ。（室温設定にあたっては、体調にも配慮する）



○ 照明機器・OA機器などの電源オフや取替の徹底

オフィスや家庭での機器の細かい電源オフに加え、LED照明や省エネ機器の導入検討を呼びかけ。

○ 夏のエコドライブ（徳島エコ・カーライフ）の推進

アイドリングストップやエコドライブ、公共交通機関や自転車への乗換に加え、ハイブリッド車やEV・PHVの導入を検討。



事業主の皆さまへ

毎月勤労統計調査のお願い

毎月勤労統計調査は、賃金や労働時間、雇用の変動を明らかにすることを目的に、統計法に基づいて厚生労働省が実施している、国の重要な統計調査です。調査は事業所単位で行います。

調査は、2種類あります

5人以上の労働者を雇用する事業所対象
毎月勤労統計調査
毎月実施

1～4人の労働者を雇用する事業所対象
毎月勤労統計調査 特別調査
年1回（7月）実施

調査対象の事業所は、一定のルールに基づいて、無作為に選ばれます。

調査対象に選ばれた事業所の皆さまには、
調査へのご理解とご回答をお願いいたします。

調査で知り
得た内容の
秘密保護は
万全です！



毎月勤労統計調査のキャラクター「まいちゃん きんちゃん」

調査の結果は、
景気の判断や、
社会保障制度を
検討するときの
資料として使わ
れます。



毎月勤労統計調査特別調査
イメージキャラクター
「とくちゃん」

◆ 詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください ◆

トップページ → 統計情報・白書 → 各種統計調査結果 → 厚生労働統計一覧 →
7. 雇用 → 毎月勤労統計調査 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1.html>



厚生労働省 都道府県

厚生労働省毎月勤労統計調査担当

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

T E L 03-5253-1111（内線7605～7607, 7609, 7610, 7626, 7631）

編集 後記

◆第139号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

◆特集では、「2016年版中小企業白書のポイント」「平成28年度中央会事業の概要」「マイナンバー制度」について紹介させていただきました。詳細については、中央会までお問い合わせ下さい。

◆「ものづくりの達人」では、中道鉄工株式会社様を訪問させていただきました。「お客さまの声は品質向上のための財産」と考え、豊富な創造力と高度な技術力により、独自のシステムを確立しておられる中道社長の仕事への情熱と、現状に甘んじることなく常に新しいものを考え、オンリーワン技術を磨き続ける姿に大変感銘を受けました。今後益々のご発展とさらなる飛躍を祈念しております。この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

◆今年度より中央会に1名の新人が入りました。中央会トピックスの中で、似顔絵入りで紹介しておりますので、ご指導よろしくお願いします。

◆今号より新しく「日本全国名城めぐり&映画の日々」のコーナーを始めました。お勧めの名城と、心に残る映画の魅力を、毎号読者の皆様にご紹介していきます。どうぞお楽しみに。

◆先日、三好市池田町の廃校舎を改装したカフェ兼イベントスペース「ハレとケデザイン舎」を視察させていただきました。地元の食材を使用したピッツァなどが楽しめる素敵なお店で、イベントにも活用されており、地域の交流の場になっているそうです。

また、NPO法人簾庵トラストが運営する古民家を再生した宿泊施設「桃源郷 祖谷の山里」も、日本の伝統文化や原風景の魅力を再確認できる素敵なお施設でした。同法人の取り組みは、山村集落を守ると同時に地域の活性化に繋がる素晴らしい活動だと感じました。視察を通して、創業する方々の創造力、実行力を目の当たりにし、創業支援のあり方を学び、大変貴重な体験となりました。

vol. 01

平成28年度 第1号
(年間4回発行 通巻第139号)

組合活性化情報 中央会とくしま



大川原高原 水彩画/布川 嘉樹